

専門分野Ⅱ 成人看護学 授業計画

授業科目及び時間数	成人看護Ⅴ 1単位 30時間		
開講時期	2年次 前期		
担当教員	黒田沙織・我妻ひと美・黒川みゆき	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>成人看護学では、成人期の特徴を踏まえ成人期の健康障害を持つ対象のおかれた状況（経過）に応じた看護が展開できる能力を養うことを目標としている。</p> <p>成人看護Ⅴでは、慢性期看護について学ぶ。慢性期とは「慢性の状態にある時期であり、長期にわたり、患者と医療者が病気をマネジメントしていく時期」である。慢性期にある人の看護は対象が自らの問題に気付き、自ら意思決定したやり方で、病気と折り合いをつけて生活を拡大し、その人らしい生活が営めるように援助することを目指す。本授業において、慢性期にある対象の特徴を理解し、この時期に必要な看護について学ぶ。また、実践に向けて「栄養代謝機能障害」「消化・吸収機能障害」「内分泌機能障害」「内部環境調整機能障害」のある対象への看護についても学んでいく。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 慢性期看護の考え方 1) 慢性期とは 2) 慢性期にある疾患の特徴 3) 慢性疾患の治療の特徴 2. 慢性期にある人の特徴と理解 1) 慢性期にある人々の心理・社会的特徴 2) 病みの軌跡 3) 疾病の受け入れ過程 4) 病気との付き合い～病いの慢性性と生活者～ (コンプライアンス・アドヒアランス) 5) 慢性疾患をもつ人と家族	講義 (黒川)	
2回目	1. 慢性期にある人への看護援助 1) 慢性疾患患者のQOL 2) 慢性疾患患者の行動変容を促す援助 (自己効力感、エンパワーメント、セルフケア理論)	講義 (黒川)	
3回目	慢性の栄養代謝機能、消化・吸収機能、内分泌機能障害を持つ患者の看護 (慢性肝炎・肝硬変・潰瘍性大腸炎・クローン病・甲状腺機能異常症)	グループワーク (黒川)	
4回目			
5回目			
6回目	腎不全治療の概要	講義 (黒田) 透析看護認定看護師	
7回目	透析看護に必要な技術	講義 (黒田)	
8回目	透析患者の看護 保存期・導入期・維持期	講義 (黒田)	
9回目	透析困難患者の看護	講義 (黒田)	
10回目	事例検討	講義・グループワーク (黒田)	
11回目	糖尿病の概要 食事療法・運動療法について	講義 (我妻) 糖尿病看護認定看護師	
12回目	インスリン療法について (自己注射体験)	講義・演習 (我妻)	
13回目	糖尿病とがん (血糖測定体験)	講義・演習 (我妻)	
14回目	まとめ 事例で考えてみよう	講義	
15回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 100% (黒川 50% 黒田 30% 我妻 20%)		
受講生に対するメッセージ	成人看護Ⅴは、3年次の成人看護学実習Ⅲに繋がる授業である。学んだことを実習で活用できるよう、積極的に授業に取り組んで欲しい。		
テキスト	成人看護学 慢性期看護論 スーヴェルヒロカワ 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 成人看護学⑤ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌 成人看護学⑥ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧ 医学書院		
参考書	病気がみえる 糖尿病・代謝・内分泌/腎・泌尿器/消化器 メディックメディア フラピエかおり著 看護学生のための重要疾患ドリル メヂカルフレンド社		

